

大阪知事・市長選

来月22日投票

大阪府知事・大阪市長ダブル選(11月22日投票)が告示まで1カ月に迫りました。最大の焦点は、大阪の「維新」政治に終止符を打ち、庶民のまち・大阪にふさわしい府政・市政を築くかどうかです。



演説する(左から)橋下、吉村、松井の各氏。4日、大阪市

庶民の街にふさわしい まともな府・市政こそ

また大阪市解体!?

大阪市長選(11月8日告示)は、無所属で出馬する柳本頭氏(41)と、自民党前市議団幹事長と、橋下徹現市長の後継候補、大阪維新の会の吉村洋文氏(40)と前衆議院議員のたかひです。柳本氏は、大阪市長を止める是非が問われた5月の住民投票で「大阪市をつぶすな」と共同の一翼を担い、論戦の先頭に立ちました。「大阪市をよくする会」と日本共産党は、柳本氏を自主的立場で支持し、橋下「維新」市政に終

止符を打つため総力を挙げます。大阪府知事選(11月5日告示)は、大阪維新の会幹事長で再選をめざす現職の松井一郎氏(51)が出馬表明。「明るい民主大阪府政をつくる会」と日本共産党は、知事選でも「反維新」のオール大阪の共同をつくり、その力で勝利するため全力を尽くします。

「維新」の言い分は、否決されたが、「話し合いでは、府・市の二重行政解消がなければつまずく」ということ。そして、大阪府と大阪市の二つもいらぬ、大阪市をつぶして権限も財源も「都(府)」に集中して、「一人の指揮官」でやりたい放題の独裁体制をつくりたいというのが、「大阪都」構想です。「豊かな大阪」どころか大阪を破壊するこんな構想には、再びノーの審判を下す時です。

「維新」の言い分は、否決されたが、「話し合いでは、府・市の二重行政解消がなければつまずく」ということ。そして、大阪府と大阪市の二つもいらぬ、大阪市をつぶして権限も財源も「都(府)」に集中して、「一人の指揮官」でやりたい放題の独裁体制をつくりたいというのが、「大阪都」構想です。「豊かな大阪」どころか大阪を破壊するこんな構想には、再びノーの審判を下す時です。

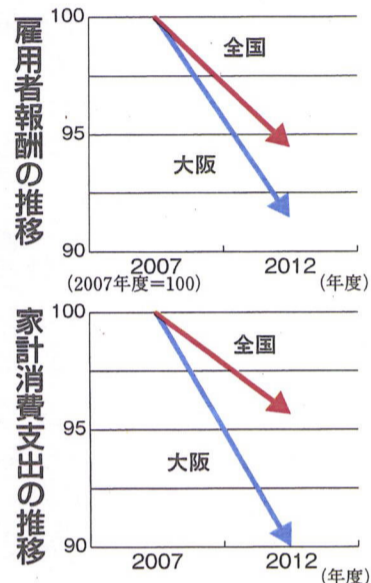
さらさらば橋下「維新」政治

① 落ち込む暮らし

「維新」は「過去に戻すか、前に進めるか」を大阪ダブル選のキャッチフレーズにしていますが、これ以上、維新政治を続けるのか、終止符を打つのかそれが問われます。「維新」を見てみると。

「成長」どころか、維新府政8年で大阪の暮らしも経済も落ち込んでいます。賃金(雇用者報酬)、家計消費の低下は全国平均以上です。府の財政も逼迫し、借金残高は6兆円を超えています。

子どもの医療費助成は、



寝屋川市や豊能町では高校卒業まで引き上げられませんでした。これはほとんど

市町村の努力です。松井府政は、ようやく小学校入学前まで引き上げたものの、

各県独自の子ども医療費助成制度・通院(2015年度)

都府県	対象年齢
東京	中学校卒業
京都	小学校卒業
兵庫	中学校卒業
大阪	小学校入学前

② なんでも民営化

地下鉄も水道も幼稚園・保育所も「なんでも民営化」を狙い、府立・市立の施設つぶし、統合を進め、問題続出の「公募区長」「公募校長」を続けるなど、大阪府・大阪市の公的責任を

③ 独裁手法で混乱

「選挙で勝てばなんでもできる」という独裁手法を持ち込み、対立と混乱を生み出してきました。教育と自治を壊す「教育基本条例」「職員基本条例」などを独裁的な手法で進め

ます。よく「維新」がパネルを使って「二重行政」の象徴として持ち出すのが、旧WTCビルと、りんくうゲートタワービルの破綻です。国が大阪に押し付け、関西財界があおったゼネコン浪費型巨大事業が破綻したもので、「二重行政」とは関係ありません。結局、橋下「維新」がやってきたこと、やろうとしていたこととは、病院も大学も男女共同参画施設も、「大阪府立」と「大阪市立」の二つの施設があればつまずくということ。そして、大阪府と大阪市の二つもいらぬ、大阪市をつぶして権限も財源も「都(府)」に集中して、「一人の指揮官」でやりたい放題の独裁体制をつくりたいというのが、「大阪都」構想です。「豊かな大阪」どころか大阪を破壊するこんな構想には、再びノーの審判を下す時です。



市庁舎前パレードで唱和しながら歩く参加者。9月25日、大阪市

共同の力 「反維新」市政住民250万人超

「維新」政治を打ち破るには共同の力です。2013年秋の堺市長選では、衛生都市の市長選では、2013年秋の堺市長選はいらい、岸和田、貝塚、豊中、泉南、吹田、寝屋川、八尾の8市で「反維新」の立場の市長が生まれました。そのもとで暮らしを守る新たな施策がめらわれています。

「改憲タッグ」破るためにも

日本共産党大阪府委員 野望の実現のために、大会の山口勝利委員長は大阪府選の是非を問う住民投票に介入するなど、立場について、次のよう

「改憲タッグ」を破るためにも、日本共産党大阪府委員 野望の実現のために、大会の山口勝利委員長は大阪府選の是非を問う住民投票に介入するなど、立場について、次のよう